

# 施設の整備が進んでいます

## 明日へと響け 復興のつち音

このコーナーでは、石巻の復興や復旧の様子を紹介しします



### ① 石巻東消防署 (渡波字新千刈38)



▲県内の消防署で最も高い21mの訓練塔



▲石巻東消防署は、渡波地区をはじめ、湊地区や稲井地区(一部)、荻浜地区、田代地区の約1万1千世帯、2万6千人が暮らす東部エリアを管轄します。



▲有事の際に防災ヘリ等が離発着できる「臨時ヘリポート」も整備しました。



▲消防隊・救急隊の隊員等33人体制でスタート。車両は、消防ポンプ車、水槽付ポンプ車、救急車等計5台を配置しました。



8月27日(土)に開庁式を実施。式典後には、消防音楽隊の演奏や、レスキュー隊による訓練の実演等を行いました。

東日本大震災によって甚大な被害を受けた石巻消防署湊出張所と渡波出張所を統合し、新たな防災拠点として、石巻東消防署が9月から運用を開始しました。



▲消毒室



▲待機室



▲仮眠室



## ② 東学校給食センター

(明神町一丁目4・17)

東日本大震災で被災し使用できなくなった湊、渡波の両学校給食センターの代替施設として、湊地区に東学校給食センターが完成し、8月から各学校への給食提供を開始しました。

### 環境面への配慮

最新の省エネルギー機器の採用はもとより、発生する食べ残し等の生ゴミの重量を減少できる塵芥処理システムを導入しています。

### 食物アレルギーに対応

食物アレルギーを持つ児童・生徒に原因物質を除いた学校給食を提供するため、専用の調理室を設置しています。

### 高度な衛生管理

汚染・非汚染区域を明確に区画し、配送用コンテナごとの消毒・保管を行うシステムを採用する等、高度な衛生管理施設となっています。



8月18日(木)に開所式を実施。式典後に施設見学や試食会を行いました。



▲焼物・揚物・蒸物室



▲アレルギー調理室



▲洗浄室



▶調理室



▲ドックシェルター

給食を配送・回収するときは、衛生面を考え、この装置で出入り口と荷台を密着させて、外気や害虫が入るのを防ぎます。

## ④ 夜間急患センター (蛇田字西道下71)

石巻赤十字病院敷地内に整備を進めている夜間急患センターは、9月に建物が完成しました。12月の開設に向けて準備を進めています。

同センターは、旧施設が東日本大震災で被災したため、現在は日和が丘一丁目2-11(石巻中央公民館隣)で診療を行っています。



## ③ 寿楽荘

(日和が丘一丁目1-1)

旧市役所本庁舎跡地に整備を進めている老人福祉センター「寿楽荘」は、8月に建物が完成し、現在、開設に向けて準備中です。建物は5階建てで、1階が寿楽荘、2階以上が復興公営住宅となっている複合施設です。

寿楽荘には、浴室や集会室を整備。高齢者の生きがい、健康づくりを推進する施設で、本年11月下旬の開設を目指しています。

